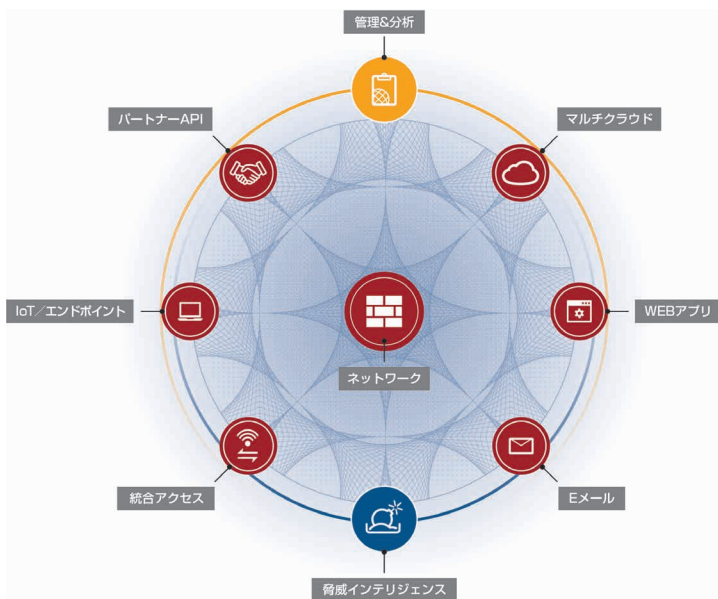


FortiOS: フォーティネット セキュリティ ファブリックの基盤

多くの企業が、スキルのある人材の明らかな不足と限られた予算という問題を抱える中で、高度なサイバー脅威は今も増え続けています。複数のセキュリティ製品がネットワークに導入され、法規制やセキュリティ標準のコンプライアンスに伴う新たな要件への対応が求められるようになってきていることで、エンタープライズセキュリティのリーダーを取り巻く環境は、ますます複雑化し続けています。ビジネスのあらゆる分野でデジタルトランスフォーメーション (DX) が進むことで、ネットワークにも急速な進化が求められ、アプリケーション、データ、およびサービスの高速化と、多様なユーザー、ドメイン、デバイスへの対応が必要とされるようになりました。その結果、ネットワークのボーダレス化が加速しています。IoT デバイスやクラウドインフラストラクチャの登場によって攻撃対象領域が拡大し、IT 部門が把握していない部分に対する攻撃にも備えなければならなくなりました。

セキュリティ ファブリックのアプローチ

これらの課題の解決方法として、複数の単機能ソリューションやプラットフォームを使用するアプローチがありますが、これとは対照的な、組織内の異なる環境に存在するすべてのデータやセキュリティの要素を縫い目のない1枚の生地 (ファブリック) のように密接に統合、一体化するアプローチがあったとしたらどうでしょうか。このようなアプローチであれば、クラウドをも含むネットワーク全体のセキュリティを可視化、制御、統合、管理できる、セキュアデジタルビジネスモデルが実現します。これによって、ワークロードやデータの増加に合わせた拡張や変更が可能になる



と同時に、IoT、スマートデバイス、境界のないネットワーク、そしてクラウド環境を行き来するデータ、ユーザー、アプリケーションを簡単に追跡して保護できるようになります。

フォーティネット セキュリティ ファブリックは、単機能製品やプラットフォームソリューションに代わる、有効な手段を提供します。セキュリティ ファブリック内のすべてのセキュリティコンポーネントがリアルタイムで相互に通信できるようにすることで、高度な脅威に対する広範かつ強力な自動保護が実現します。**FortiOS** は、フォーティネット セキュリティ ファブリックを構築する上で基盤となるネットワークオペレーティングシステムです。その最新リリースである **FortiOS 6.0** には、200 を超える新機能が追加されており、ネットワークパフォーマンスに影響を与えたりセキュリティを低下させたりすることなく、デジタルトランスフォーメーションを推進することができます。

BROAD (幅広い) : 透過的な可視性と制御

ネットワークに分散するデバイスを単独の隔離されたものとして処理するセキュリティソリューションでは、今日のビジネスを保護することはできません。フォーティネット セキュリティ ファブリックは、攻撃対象全体を保護することで、複数の場所で脅威の影響を食い止めます。この目標を達成するため、FortiOS 6.0 は、エンドポイント、アクセスポイント、ネットワーク機器、データセンター、クラウド、さらにはアプリケーションやデータそのものを含めた環境全体の可視化と制御を可能にします。セキュリティ ファブリックは、データとリソースを論理的に分離する**動的ネットワークセグメンテーション**との組み合わせによって、あらゆる攻撃ベクトルに対応し、ネットワークゾーン間の移動を試みる脅威を検出して、封じ込めます。

セキュリティ ファブリックの拡張クラウドコネクタにより、プライベートクラウド、IaaS (Infrastructure-as-a-Service)、およびネイティブのクラウド制御機能が含まれる**マルチクラウド環境**全体の完全な可視化が可能になりました。さらに、FortiCASB (クラウドアクセスセキュリティブローカー) によって SaaS (Software-as-a-Service) アプリケーションの可視化と高度な脅威保護が実現します。マルチクラウドの可視化により、統合セキュリティ管理コンソールを使用した、オン / オフ両方のネットワークトラフィックの相関付けが可能になります。

FortiOS 6.0 には、これ以外にも数多くの新機能が追加されており、**監査およびコンプライアンス**のベストプラクティスをサポートすることで、企業における最新の標準や法規制 (GDPR、PCI、HIPAA など) へのコンプライアンスが容易になります。さらに、**事前設定されたルール**が用意されているため、面倒なルールの作成、適用、追跡に要する時間を削減できます。

INTEGRATED (統合化) : 最新の脅威の検知

多くの組織にとって、セキュリティ対策は極めて複雑になっています。新たなセキュリティギャップを解消し、攻撃対象を保護する目的で、多くの単機能製品が次々と追加導入されています。多数の製品を導入、管理、監視するプロセスは人手に頼ることも多く、結果として定常的なリソース不足に悩まされることとなります。また、新しい法規制の制定によって**コンプライアンスやレポート作成の要件**が厳しくなる一方で、セキュリティ予算は縮小され続けています。さらに、スキルのあるセキュリティ専門家が世界的に不足しているため、先に述べた複合的な問題に直面する組織が極度の人材不足に陥る可能性があります。

複雑化し続ける今日の環境を包括的に保護するには、企業のセキュリティインフラストラクチャの異なる部分を、一つの統合システムとして連携させることが不可欠です。フォーティネット セキュリティ ファブリックは、すべてのデバイス、そして分散ネットワークを保護するシステムの統合セキュリティとしてだけでなく、高度な最新の脅威を迅速に検知するように設計されています。FortiOS 6.0 には、インフラストラクチャ全体での正確な**脅威検知**を可能にする、高度な新機能が数多く統合されています。一体型でエンドツーエンドのセキュリティアーキテクチャによってインテリジェンスを共有することで、自動化の可能性が最大限に広がり、人材不足の影響が軽減されます。具体的には、セキュリティ ファブリックでは人手による監視や介入の制約なく、信頼性の高い分析結果に基づいて**自動アクション**を実行するとともに、脅威情報の効率的なコミュニケーションや迅速なパッチ適用が実現します。

FortiOS 6.0 は、セキュリティ ファブリック内部における統合**セキュア SD-WAN**もサポートしており、SaaS や VoIP をはじめとする各種ビジネスアプリケーションに優先度を設定し、きめ細かく制御できます。このようなきめ細かなトランザクションによって、自動フェイルオーバー機能を備える SaaS、VoIP、およびビジネスアプリケーションのパフォーマンス向上が実現します。新たにワンタッチ VPN / ゼロタッチ展開が可能になったことで複雑さがさらに軽減され、大規模企業の新しい支社への展開がこれまで以上に迅速に行えるようになりました。

FortiGuard セキュリティ レーティング サービスでは、インテリジェンスベースの新機能として、監査ルールの拡張やネットワーク環境に基づく監査のカスタマイズが可能であり、オンデマンドで法規制 / コンプライアンスレポートも提供できます。これによってコンプライアンス違反のリスクが低下すると同時に、法規制要件の厳格化に伴う運用の負荷が軽減されます。

AUTOMATED (自動化) : 効率的な運用

統合化と自動化の連携は極めて重要です。脅威が検知されてから、セキュリティイベントへのレスポンスまでの時間を可能な限り短縮

し、侵害のリスクを最小限に抑制しなければなりません。フォーティネット セキュリティ ファブリックは、**侵入から検知までの時間**はもちろん、**検知からレスポンスまでの時間**も短縮するよう設計されています。フォーティネット セキュリティ ファブリックは、脅威インテリジェンスの相関付けによってリスクレベルを判断し、協調的レスポンスを自動的に同期します。さらに、新たに発見された脅威に関するインテリジェンスの共有、脅威の影響を受けたデバイスの動的な隔離、ネットワークセグメントの分割、ルールの更新、新しいポリシーの展開、およびマルウェアの削除も可能です。また、侵害リスクの軽減だけでなく、人手によるセキュリティプロセスを自動化することで、予算の削減や人材不足の問題を解決できます。

FortiOS 6.0 では、このような分野の新機能が数多く追加されており、デバイス別のアプリケーションインベントリ作成、およびフォーティネットのスイッチや無線アクセスポイントで発生したイベントへのセキュリティレスポンスを自動化することが可能です。**自動化されたワークフロー**ではリスクが継続的に診断されるため、システムイベント、脅威アラート、ユーザーやデバイスのステータスなどの事前定義されたトリガーに基づき、ユーザーが容易にレスポンスを設定することができます。さらに、隔離、通知、構成の調整、カスタムレポートなどのさまざまなレスポンスを利用して、ワークフロー環境をリアルタイムで制御できます。**自動監査**では、セキュリティのコンプライアンス状態に関するトレンドデータを提供し、規模や業種が類似する企業とのベンチマーク比較によるランク付けを提示します。

終わりに

デジタルトランスフォーメーション (DX) が進むに伴って、企業は多くのセキュリティの課題に直面しています。コンピューティングとネットワークのトレンドが、ビジネスインフラストラクチャ、アーキテクチャ、そしてビジネスの現場に変化をもたらす一方で、サイバー犯罪においても発見された脆弱性を悪用するために新たな攻撃手法の採用や改良が続いています。このような変化に対応するためには、ビジネスリーダーが分散インフラストラクチャ全体の確実な保護を可能にする、新たなアプローチを採用することが不可欠です。フォーティネット セキュリティ ファブリックは、スケラブルで相互接続されたセキュリティと高可用性、実用的な脅威インテリジェンス、およびオープン API 標準規格によって、最も要件の厳しいエンタープライズ環境の保護にも対応するよう設計された、インテリジェントなアーキテクチャを提供します。

FortiOS 6.0 は、フォーティネットが提供する最新のネットワークセキュリティオペレーティングシステムです。FortiOS 6.0 で採用された数百もの機能拡張と新機能によって、企業全体の攻撃対象の可視化と制御のさらなる強化、ネットワークのシームレスな保護と脅威の検知を可能にする統合インテリジェンス、セキュリティの問題を迅速に特定し、解決する運用の自動化が、セキュリティ ファブリックにおいてすべて実現します。

FORTINET®

フォーティネットジャパン株式会社

〒106-0032

東京都港区六本木 7-7-7

Tri-Seven Roppongi 9 階

www.fortinet.co.jp/contact

お問い合わせ